

# ふちゅう歴史散歩 Vol.154

## 「かさね」の色目〜平安時代の配色美〜

平安時代の貴族女性の服として、何枚もの衣を重ね着した十二単が有名ですが、この重ね着によって表現される衣の配色のことを「かさね」の色目といいます。

たとえば、衣の配色を段々と淡くなるよう赤からピンク色の衣を重ねたグラデーションは、時間とともに変化する紅梅の花を表現しており、「紅梅匂」と命名されています。

また、赤い裏地の上に薄く透ける白い衣を表地として重ねることでピンクの色彩りを創り、それを桜の花色として表現していました。



十二単 (広島県和裁教師協議会製作・寄贈)



蘇芳色(赤紫)から淡い萌黄色のグラデーションの「松がさね」という色目を表現しています。

十三単の袖口 (歴史民俗資料館展示)

かさねの色目を重視した着こなしには、四季折々の情景などを衣に移した季節感とともに、衣一枚一枚が織りなす美しさを大切にす平安時代の貴族女性たちのセンスが息づいています。今年の大河ドラマは、源氏物語を書いた紫式部が主人公です。ドラマで使用されるであろう衣裳に注目していただくとともに、美しい十二単のかさねの色目を実際に歴史資料館でご覧いただき、平安の美意識や文化に触れてみてください。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

## ふちゅう Sai 発見!

「中国大会に出場するにあたって」 高校生編 その111

投稿者 (文と写真)



府中高校1年  
奥野 響さん

私はこの度、広島県高等学校放送文化コンクールアナウンス部門において優良賞をいただき、中国大会に出場することになりました。郷土というテーマで、2分間地域の洋菓子店について伝えました。自らの足で取材を行い、適切な原稿や発音で思いを等身大で表現するよう心がけました。

2学期は大会で頑張らなければと考えることが何度もあり、周囲との差を痛感して息が詰まるような時間でもありました。しかし、大会を通して評価していただけたのは周りの人たちがいたから

です。指導して下さる先生をはじめ、手を引いてくれる先輩方や同級生、そして放送部というひとつの居場所を用意してくれる友達がいるからこそ、胸を張って大会に臨むことができます。感謝しかありません。

中国大会では、精一杯演技するとともにレベルの高い演技を学んで吸収し、今後の部活動に活かせるようにしていこうと思います。高校生としても放送部としてもひよっこの私ですが、素敵な環境をいただいていることを忘れず、これからも努力していきます。

### 府中市RCCラジオ番組「府中に夢中！」

毎週月曜日16:30~16:45(そのうちの5分間) RCCラジオ(1530KHz)

放送日	放送内容
2月5日(月)	熱い思いを乗せ走る! 「全日本EV&ゼロハンカーレース」
2月12日(月)	i-coreFUCHUイベント情報! 「COCONOWA MARCHE」
2月19日(月)	無病息災・家内安全を願って 「十輪院の火渡り秘法」
2月26日(月)	令和6年天領上下ひなまつり開催!



公式SNS  
LINE



公式SNS  
facebook



スマホアプリ  
radiko(ラジオ)



府中市メール  
配信サービス



My府中



iPhone



Android